

令和3年度 東浦町子ども読書活動推進計画 計画書 <実施課：学校教育課> 資料1

関係機関	三つの柱	具体的な取組 (重点目標)	実施内容		達成度
学 校	1 本を好きになる 機会の提供	⑤ 読書タイム の継続	藤江小	・毎週火曜日と金曜日の朝8:25～8:40に読書タイムを実施し、読書に親しむ時間の確保に努める。	
			生路小	・毎週木曜日と金曜日、朝8:20～8:35の15分間を読書タイムとして全校児童で取り組む。読書する本の対象を学校図書コーナーで借りた本、学級文庫の本、自宅から持参した本、中央図書館の本とする。金曜日は担任等の読み聞かせを行う。	
			片葩小	・月・水・金曜日の朝8:25から8:40までの15分間行う。担任教師も職員打ち合わせ後、一緒に読書をする。適宜、担任による読み聞かせをする。	
			石西小	・毎週火曜日から金曜日の朝10分間を読書タイムとして日課に組み入れる。	
			緒川小	・火曜日～木曜日のうち週2日、朝8:30～8:40の10分間、自由読書を行う。 ・年3回、担任や学年の教師による読み聞かせを行う。	
			卯ノ里小	・毎週月曜、水曜、木曜、金曜8:20～8:35の15分間を読書タイムとし、学校全体で取り組むことで、落ち着いた一日の始まりを迎えることができるようにする。	
			森岡小	・毎週火曜日の朝、10分間の読書タイムを設定し、自由読書を行う。 ・毎週金曜日の朝、10分間読書をしたり、担任による読み聞かせやテレビ放送による読み聞かせ(先生、図書委員)を視聴したりする。また読書郵便、読書の記録を書いたりする。	
			東浦中	・ST前の時間を使った学習タイムを活用させて、生徒が落ち着いた一日をスタートできるようにする。また、朝の学習タイムに適した図書の選定・紹介コーナー設置に力を入れる。	
			北部中	・読書タイムを全校で取り組む意義を、生徒だけでなく職員に理解してもらうよう、折に触れて発信する。 ・読書タイムに適した図書を選定し、配架できるようにする。 ・昼の放送を通して、読書タイムに適した図書の紹介をする。	
			西部中	・火曜日から金曜日の8:25から8:35の間で読書タイムを行う。	
			藤江小	・PTA研修部に協力を依頼し、各クラス学期に数回は朝の読書タイムに読み聞かせを行う。 ・教師による読み聞かせを年に数回行う。	
			生路小	・毎週金曜日に担任が読み聞かせを行う。年4回担任以外の教員による読み聞かせや図書委員会児童の読み聞かせも行う。コロナの状況によるが、保護者の読書ボランティアにも読書週間中の読み聞かせを依頼する。 ・児童会活動として、学期に1回程度ペア読書を行う。	
			片葩小	・ペアによる読み聞かせ(高学年が低学年に、低学年が高学年に)や、担任を入れ替えて読み聞かせを行う。また、PTA委員や図書委員会による読み聞かせを行う。	
			石西小	・年間12回、読書タイムに教師による読み聞かせを実施する。また、年間8回、異学年ペアによる読み聞かせを実施する。	
			緒川小	・地域の読み聞かせボランティアによる大型絵本の読み聞かせや、放課に低学年が好きな本をボランティアに読んでもらう機会を作る。 ・図書館サポーターや図書委員、ペアの高学年による読み聞かせを行う。	

関係機関	三つの柱	具体的な取組 (重点目標)	実 施 内 容		達成度
学 校	1 本を好きになる 機会の提供	⑥ 読み聞かせ の工夫	卯ノ里小	<ul style="list-style-type: none"> 学期に数回、保護者読み聞かせボランティア「ピーターパン」に来校してもらい学年ごとに読み聞かせを行う。その際、クラスを複数のグループに分けて、少人数で読み聞かせが行えるようにする。 学期に1回程度、担任や担任以外の職員による読み聞かせも行う。 	
			森岡小	<ul style="list-style-type: none"> P T Aが主催し、年間6回、火曜日の2時間目に読み聞かせを行う。地域の読み聞かせグループをゲストに呼び、読み聞かせをする。 月1回、10分間のテレビ放送による読み聞かせを教師と図書委員が行う。 児童会と協力して、ペア学年で読み聞かせを行う。 火曜日の読書タイムが授業時間を使って、図書館サポーターによる読み聞かせやブックトークを各学級1年間に1回ずつ行う。 	
			東浦中	<ul style="list-style-type: none"> 三密を避け、可能な限り図書パートや諸機関などと連携して読み聞かせを行っていく。 	
			北部中	<ul style="list-style-type: none"> 国語科の授業内で、図書館サポーターによる「夏の課題図書」のブックトークを企画する。 国語の授業で、教科担任が図書館の本の紹介を兼ねて読み聞かせを試みる。 	
			西部中	<ul style="list-style-type: none"> 教員による読み聞かせの機会を年3回程度設ける。 	
学 校	1 本を好きになる 機会の提供	⑦ マイブック の習慣化	藤江小	<ul style="list-style-type: none"> マイブックの習慣化を呼びかけ、雨天時の放課や給食後などの隙間時間にも読書が楽しめるようにする。 	
			生路小	<ul style="list-style-type: none"> 読書タイムを設定することで、読書の習慣化を図る。自宅から持参した本を読むことも勧める。 	
			片葩小	<ul style="list-style-type: none"> 本の配置を工夫して魅力ある図書館にする。また、学級へは「おすすめの本」を配付し、中央図書館からの本の貸し出し等を利用して、身近な場所へ本を置き、様々な本を手にする機会を増やす。 	
			石西小	<ul style="list-style-type: none"> 家庭からの本の持参を認め、朝の読書タイム等に読書できるようにする。図書館まつりでブックカバーを作成する。 	
			緒川小	<ul style="list-style-type: none"> 読書タイムを設定することで、読書の習慣を身に付けさせるとともに、自分の興味や学年に応じた本を常に身近に置くように習慣付ける。 	
			卯ノ里小	<ul style="list-style-type: none"> 本の貸し出しを1回につき2冊として、借りた本は自分の机の中で保管をする。そうすることによって、いつでも気軽に手にとって本を読むことができ、愛着をもって本に親しむことができる。 	
			森岡小	<ul style="list-style-type: none"> 机の中に読みかけの本を入れておくことを勧める。 	
			東浦中	<ul style="list-style-type: none"> 学習タイムに読む本として、活字本を自宅から持参させたり、図書館で借りて読ませるようにする。 	
			北部中	<ul style="list-style-type: none"> 委員会の活動としてマイブックアンケートを行い、結果を掲示することで生徒たちが互いに情報交換し、一定ジャンルに偏る傾向を少しでも軽減できるようにする。 	
			西部中	<ul style="list-style-type: none"> 毎朝の読書タイムには、自分の本を家から持参させる。 	
			藤江小	<ul style="list-style-type: none"> 夏期休業中と冬期休業中は、学校の図書貸し出しを一人3冊とし、家庭読書の一つとして利用させる。 	
			生路小	<ul style="list-style-type: none"> 「図書館便り」を通して、家庭への読書啓発を行う。 除籍した図書を児童にリサイクル本として還元し、家庭での読書に活用してもらう。 	

令和3年度 東浦町子ども読書活動推進計画 計画書 <実施課：学校教育課> 資料1

関係機関	三つの柱	具体的な取組 (重点目標)	実 施 内 容		達成度
学 校	1 本を好きになる 機会の提供	⑧ 家庭読書の 推奨	片葩小	・「夏休みの生活」の便りに、親子での読書を勧める。また、全校児童へ「親子読書カード」を配付する。	
			石西小	・夏季休業を利用し、親子読書活動を実施する。家庭向けの案内プリントを配付し、読んだ本や感想を記入し提出してもらう。また、図書館に掲示する。	
			緒川小	・計画的に読書に取り組む宿題を出す。	
			卯ノ里小	・夏季休業中は学校の図書を一人3冊貸し出し、家庭読書の一つとして利用させる。多様な家庭があり、各家庭によって本を所持している冊数等は異なるが、学校から本を貸し出すことにより、児童は家庭でも読書習慣を身に付けることができる。	
			森岡小	・PTAが図書新聞を随時発行する。親子読書を勧める。	
			東浦中	・定期的に、図書館だよりを発行する。	
			北部中	・秋の図書館だよりで読書タイムの様子や就寝前の読書に関する記事を掲載し、家庭での読書や選書の参考になるよう努める。	
			西部中	・夏休み・冬休み等の長期休業中においても貸し出しを許可し、家庭で本を読む機会を増やす。	
学 校	1 本を好きになる 機会の提供	⑨ 望ましい 図書資料の 選定	藤江小	・各学年の教師が、発達段階にふさわしい図書資料を選ぶ。また、特別支援の教師や、専科の教師、養護教諭等にも声をかけ、様々な人の目で選ぶ。最終的には、読書サポーターと図書主任が確認をし、図書全体のバランスを見て必要な本を購入する。	
			生路小	・学年の発達段階に応じた図書を選定し資料の充実を図る。 ・東浦町中央図書館から学期ごとに150冊の図書を借り、各学年の学級文庫の充実を図る。	
			片葩小	・各学年の教師が発達段階にふさわしい図書資料を選ぶ。また、特別支援や専科の教師、養護教諭にも声をかけ、様々な人の目で選ぶ。最終的には、読書サポーターと図書主任が確認をし、図書館全体のバランスを見て必要な本を購入する。	
			石西小	・年度初めに、業者に本を持参してもらい、全職員・学校図書館サポーターで現物を見ながら児童の実態に合った本を選ぶ。	
			緒川小	・図書館サポーターや図書館サービスの情報を参考に、学習に必要な図書資料の充実を図る。	
			卯ノ里小	・年度初めに、(株)東海図書館サービスに来校していただき各学年に望ましい図書資料の選定を行う。	
			森岡小	・5～6月に図書を購入する。授業で使う本を随時購入する。	
			東浦中	・教職員・生徒から意見を聞き、購入図書資料を選定する。	
			北部中	・図書館指導部の職員だけでなく、さまざまな立場の教職員、委員会の生徒、学校図書館サポーターなど、多くの目で図書資料を選定する。	
			西部中	・図書購入の際、図書委員を立ち合わせたり、学校司書の意見を取り入れたりして、生徒のニーズに合った本や中学生に望ましい図書を購入する。	

令和3年度 東浦町子ども読書活動推進計画 計画書 <実施課：学校教育課> 資料1

関係機関	三つの柱	具体的な取組 (重点目標)	実施内容		達成度
学 校	2 読書に親しむ 環境の整備	⑩ 推薦図書コー ナーの工夫	藤江小	・各学年15冊のおすすめ図書文庫を設置済み。おすすめ図書の読書記録用紙を準備し、読書を勧める。	
			生路小	・各学年の学級文庫に「推薦図書」を入れ、1年間で10冊読むことを目標とする。 ・児童の図書ファイルに推薦図書のリストを入れ、読んだら自己評価させる。	
			片葩小	・各学年の授業内容や発達段階に合わせた「おすすめの本」を、各クラスに8冊ずつ配る。	
			石西小	・学年ごとに推薦図書を選定し、年度内に完読することを目指すとする。読んだ感想や心に残った場面などを読書記録として書かせる。	
			緒川小	・図書館サポーターと協力して、各学年にある図書コーナーに推薦図書を並べたり、全児童の目につきやすい場所におすすめの本を掲示したりして、児童が本を手に取りやすいコーナーにする。	
			卯ノ里小	・学校図書館サポーターと連携し、図書館の平積みコーナーの整備をする。季節や流行の本を定期的に入れ替えることで児童の興味関心を引く推薦図書コーナーを整える。	
			森岡小	・季節や行事に合わせて、図書館サポーターや図書委員が推薦図書を選び、おすすめの本としてコーナーを作って設置する。 ・モリモリ推薦図書として各学年で推薦図書を選定し設置する。	
			東浦中	・委員会の生徒や、図書館サポーターによるコーナーの充実を図る。	
			北部中	・学校図書館サポーターの力を借りて、季節や学校行事、社会の動きなどに合わせた館内のコーナーを一層充実させていく。 ・googleクラスルームを使い、図書委員の推薦図書を発信するとともに、館内に推薦図書コーナーを作る。	
			西部中	・新刊図書や推薦図書のコーナーを設け、本に興味や関心をもたせる配置をする。	
学 校	2 読書に親しむ 環境の整備	⑪ 学級文庫充実 事業の充実	藤江小	・構内の図書館の廃棄本や数冊ある本を、リサイクル本として学級文庫に配架する。 ・中央図書館からの学級文庫を一定期間ごとにクラス間で交換する。	
			生路小	・定期的に学校図書コーナーの本を学年の本棚に移動して、学級文庫の充実を図る。 ・東浦町中央図書館から借りた本を活用して、学級文庫の充実を図る。	
			片葩小	・中央図書館や校内の図書館の廃棄本等を利用して、学級文庫に配架する。また、中央図書館に本の貸し出しをお願いして学級文庫として配架し、様々な本に触れられるようにする。	
			石西小	・学級ごとに学級文庫を設置し、年度内にクラス間の入れ替えを行う。また、中央図書館から借りた本も置き、本の充実を図る。	
			緒川小	・学級文庫は無いが各学年に図書コーナーがあるため、学年に応じた本やおすすめの本を置くようにする。	
			卯ノ里小	・本校では、図書館以外に各学年の図書コーナーが常設されており、学年の実態に応じた学校図書が排架されている。児童にとって身近な環境に本を置くことで児童の読書を積極的に促す。	

令和3年度 東浦町子ども読書活動推進計画 計画書 <実施課：学校教育課> 資料1

関係機関	三つの柱	具体的な取組 (重点目標)	実 施 内 容		達成度
			森岡小	・各学級に80～100冊。年度の途中で入れ替えをする。中央図書館からのリサイクル本を学級文庫に入れる。	

令和3年度 東浦町子ども読書活動推進計画 計画書 <実施課：学校教育課> 資料1

関係機関	三つの柱	具体的な取組 (重点目標)	実 施 内 容		達成度
			東浦中	・委員会活動で、図書の入れ替えをできる限り多く行うようにする。	
			北部中	・委員会活動の中で館内の図書を複数回学級に貸し出し、生徒がさまざまな図書にふれる機会をつくる。	
			西部中	・各クラス30冊程度の学級文庫を配布し、一定期間でローテーションを行い、多くの本に触れる機会を設ける。	
学 校	3 関連機関の連携・協力	⑫ 団体貸出制度の推進	藤江小	・中央図書館から学期ごとに約100冊の貸し出しを受け、学級単位で回す。	
			生路小	・東浦町中央図書館の団体貸出可能枠を利用し、各教科に必要な資料を充実させる。	
			片葩小	・団体貸し出しの利用方法を定期的に各学年の教師に知らせ、学習状況に応じて貸し出しを利用するように促す。	
			石西小	・学年ごとに中央図書館の団体貸し出しを利用して、各教科及び総合的な学習の時間で使用する学習資料の充実を図る。	
			緒川小	・町中央図書館の団体貸出制度を利用し、学習に必要な資料を充実させる。 ・町中央図書館から学期ごとに150冊の図書を借り、学年に応じて配架する。	
			卯ノ里小	・学校図書館サポーターと連携し、学期に1回程度、団体貸出制度を利用して学級文庫の充実を図る。また、総合的な学習の時間や、各教科の学習の際に団体貸出を利用できることを職員で情報共有し利用を促す。	
			森岡小	・担任へ呼びかけ、授業で活用する。	
			東浦中	・定期的に職員に情報提供し、「総合的な学習の時間」や行事のテーマに合わせて、資料となる本を提供する。	
			北部中	・町の中央図書館からの情報を校務支援システムを通して職員に周知し、授業等での活用を情宣する。	
			西部中	・職員への周知を図る。	
学 校	3 関連機関の連携・協力	⑬ リサイクル資料の活用	藤江小	・本のリサイクルフェアにて譲渡を受け、図書館や学級文庫に入れる。	
			生路小	・東浦町中央図書館のリサイクル資料を積極的に活用する。	
			片葩小	・図書館に不足している資料の種類を調べ、中央図書館よりリサイクル資料を配付して貰う。	
			石西小	・中央図書館等のリサイクル本を積極的に活用する。	
			緒川小	・町中央図書館のリサイクル資料などを積極的に活用してもらえるように職員に声をかける。	
			卯ノ里小	・中央図書館等のリサイクル本を積極的に活用する。	
			森岡小	・学級文庫に入れ、学級文庫の魅力を増やす。	
			東浦中	・新旧の本の入れ替え時に多くの職員に知らせ、可能な限り多くの目で資料を選定できるようにする。	

令和3年度 東浦町子ども読書活動推進計画 計画書 <実施課：学校教育課> 資料1

関係機関	三つの柱	具体的な取組 (重点目標)	実施内容		達成度
			北部中	・町の中央図書館からの情報を校務支援システムを通して職員に周知し、要望を集約する。	
			西部中	・町中央図書館が企画するリサイクルフェアに積極的に参加し、学校図書の実を充実に図る。	
4	その他の取組		藤江小	・秋に読書週間を設定し、異学年ペアでおすすめ本紹介を行う。 ・毎学期末に多読賞を表彰する。 ・学期ごとの本の貸出状況や新着本情報などを掲示する。	
			生路小	・あじさい読書週間で、読書郵便、リサイクル資料の配付、リニューアルされた図書コーナーの新しい愛称の募集 ・担任以外の教員による読み聞かせ（年4回）図書委員会児童による読み聞かせ（年4回） ・夏季休業中の児童への本の貸出冊数を増やす（5冊まで→10冊まで）	
			片葩小	・読書通帳の活用 ・毎学期ごとに、本の貸し出し冊数を児童へ知らせる。 ・読書郵便によるおすすめの本の紹介	
			石浜西小	・年度末に多読賞を表彰する ・秋の読書週間に図書館まつりを行い、読書ビンゴや図書委員会児童による読み聞かせなど本に親しめるイベントを行う。	
			緒川小	・ペア活動の機会に、ペア読書を行う。 ・学期ごとに朝会で多読者表彰を行う。 ・図鑑や調べ学習ができる資料を一か所に集め、学習情報センターとしての役割をもたせる。	
			卯ノ里小	・読書通帳を活用し、児童が多くの本を読める環境を整えている。 ・ペア読書を学期に1回程度行うことで、異学年の児童との交流を図っている。	
			森岡小	・学年ごとに決められた年間目標冊数を提示し、毎学期目標を達成できた児童に、多読賞を渡す。 ・図書委員会の児童による図書館便りを発行する。 ・11月に、図書委員会主催の図書館祭りをを行う。	
			東浦中	・各学年の国語科の授業で、図書館利用のガイダンスを行い、読書への興味をもたせるとともに、利用のルールの周知を図る。町図書館の利用の仕方についても触れる。	
			西部中	記載なし	
			北部中	記載なし	